

# プロフィシエンシテスティング(技能試験)の提供 —2008年度ひじき粉末技能試験結果の概要—

## 技能試験について

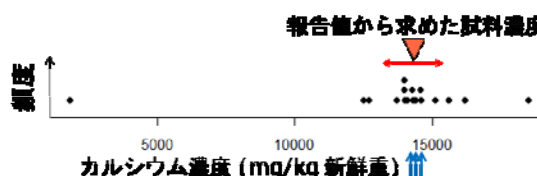
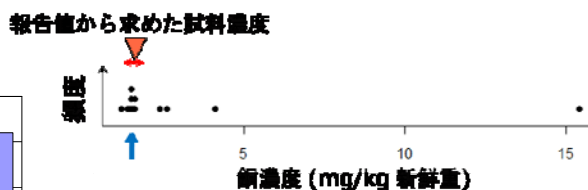
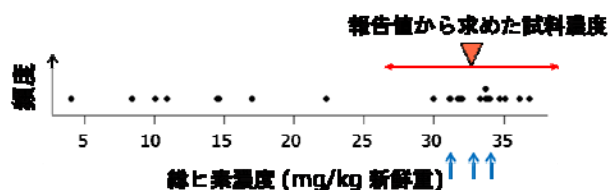
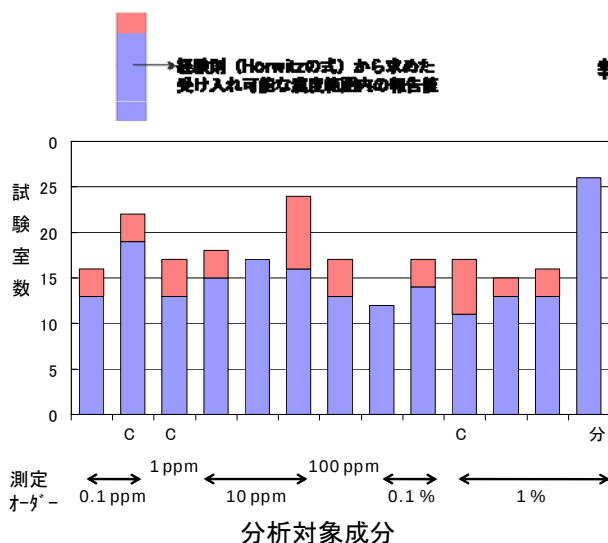
- 技能試験では、実施者が均質な試料を参加試験室に配付します。参加試験室は任意の方法で分析後、実施者に分析値を提出すると、分析値の評価結果(かたより)を示した報告書が返送されます。
- 技能試験への参加により、分析技能を確認することができます。
- 試験所認定(ISO/IEC17025)や食品衛生法上の検査機関登録には、技能試験への参加が必須となっています。今後は一般の食品分析試験室にとっても、分析値の信頼性を外部に示すときに技能試験への参加が必要になってくると考えられます。
- 食品総合研究所 食品分析・標準化センターでは、2006年から年1回実施している「精米粉末中のカドミウム及び必須無機元素に関する技能試験」に加えて、2008年から「ひじき粉末中の総ヒ素及び必須無機元素等に関する技能試験」を提供しています。

## 2008年度ひじき粉末技能試験

**As, Pb, Cd, Na, K, Mg, Ca, P, Fe, Zn, Cu, Mn**

参加28試験室のうち26試験室が分析結果を報告

分析対象成分は任意で、参加試験室の方法により分析  
(併行して水分を105℃、5時間の常圧通風加熱乾燥法で測定)



→：経験則（Horwitzの式）から求めた受け入れ可能な温度範囲  
↑：配付試料の均質性確認のため10本を分析した最小値、平均値および最大値

かにかから、くの分でれ能なをはれる報告値がることから、  
分析方法を検し、また分析値の信頼性を外部に示すたに技能試験への参加がまれます。

|     |        |                             |    |
|-----|--------|-----------------------------|----|
| 今後の | 200 年度 | 2回ひじき粉末技能試験を実施中（11/ 0 分析値報告 | り） |
|     | 2010年度 | 回ひじき粉末技能試験を実施               | 定  |

参考 200 年度ひじき粉末技能試験 // / /200 / 2  
2008年度技能試験試料として、ひじき粉末 標準 質を提供していた きました  
( ) 技 総合研究所 標準総合センター( I に く いたします。